

令和5年度 宇都宮市立昭和小学校学校経営計画

1 教育目標

(1) 基本目標

国際社会の中で、日本人としての自覚を持ち、心身ともに健康で創造力に富み、豊かな情操と正しい判断力・実践力のある心豊かで、たくましく生きる児童を育成する。

(2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）

《目指す児童像》

「やさしい子」	心豊かで思いやりのある子
「元気な子」	健やかでたくましい子
「よく学ぶ子」	自ら学び自分をのばす子

《目指す教師像》

「頼れる教師」	倫理観と使命感をもち、誰からも信頼される教師
「児童とともにある教師」	児童のよさを認め、褒め、励ます教師
「学び続ける教師」	指導力の向上に努め、ともに学び続ける教師

《目指す学校像》

「安全・安心な学校」	安全・安心の確保のため、組織的に取り組む学校
「活気ある学校」	自主的・自律的に特色ある教育活動を推進する学校
「地域とともにある学校」	家庭、地域と一体となって児童を育む学校

2 学校経営の理念

学校教育目標の基本目標・具体目標を実現するための学校経営を進めるにあたり、児童にとって「安心して学べる学校」、保護者や地域住民にとって「信頼できる学校」、教職員にとって「勤めたい学校」、そして誰にとっても「活力にあふれ魅力ある学校」にしたいと考える。

- (1) 児童が「安心して学べる学校」とは、児童一人一人の教育的ニーズを理解した上で、適切な支援・指導を行いながら、児童が自分のよさに気づき、自信を高めながらいきいきと生活できる学校であると考え。そのため、教職員は、児童一人一人のよさを認める、**褒める**、励ます指導に努めるとともに、全ての教育活動をとおして豊かな体験活動を重視し、活気と潤いのある学校づくりを推進する。
- (2) 保護者や地域住民が「信頼できる学校」とは、児童の生命や人権が守られ、教職員が使命感をもって児童の指導にあたる学校であると考え。そのため、安全・安心な学校環境づくりに努めるとともに、教職員は、信頼される学校宣言の理念のもと、職務を遂行し、学校教育の目標を家庭や地域と共有しながら、理解と協力・参画を得て『地域とともにある学校づくり』を推進する。
- (3) 教職員が「勤めたい学校」とは、風通しの良い職場環境の中で、教職員が相互に支え合いながら質の高い教育の実現を目指す学校であると考え。そのため、教職員の働き方改革の視点に立って職場環境の改善に努めるとともに、教職員個々の持ち味が生かされ、高い同僚性を発揮できるプロ集団づくりを推進する。

- (4) 誰にとっても「活力にあふれ魅力ある学校」とは、学校の歴史と伝統が大切にされ、学校独自の教育活動に誇りをもつことができる学校であると考える。そのため、地域の教育資源を積極的活用しながら創意工夫を生かして本校独自の教育活動の充実を図り、『特色ある学校づくり』を推進する。

3 学校経営の方針

「21世紀をたくましく生き抜く力」の育成を目指し、「教育基本法」「学校教育法」「学習指導要領」並びに「第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画」「令和5年度指導の重点」の趣旨や内容を踏まえた上で、本校の学校評価や各種調査の結果に基づく実態に基づき、以下の方針に基づき学校経営の充実に努める。

- (1) 教育活動の質の一層の向上を目指し、カリキュラム・マネジメントにより学習効果の最大化を図るとともに、本年度の重点目標等について学校と保護者、地域住民が共有できるようにしながら地域の教育力を最大限に活用して特色ある教育活動を推進する。
- (2) 「やさしい子」:心豊かで思いやりのある子を育成するため、自他の生命と人権を尊重する心や思いやりの心など育む豊かな体験活動と、全教育活動を通した道徳教育を推進する。
- (3) 「元気な子」:健やかでたくましい子を育成するため、健康で安全な生活ができる基本的生活習慣を身に付ける指導と、体力の向上を図る教育活動を推進する。
- (4) 「よく学ぶ子」:自ら学び自分をのばす子を育成するため、学ぶ意欲を高めながら、知識・技能を確実に身に付け、思考力・判断力・表現力を育む学習活動を推進する。
- (5) 「信頼される学校宣言」のもと、全ての教職員が、高い倫理観や人権意識と使命感をもつとともに真摯な態度で自己研鑽に努め、児童一人一人を大切にする教育活動を実践し、誰からも信頼される教職員として職務に励む。
- (6) 教職員が健康でいきいきとやりがいをもって勤務し、児童と向き合いながら質の高い教育が行えるよう、教職員の働き方改革の視点に立ち、職場環境改善のための取組を推進する。
- (7) 星が丘地域学校園小中一貫教育を「自己肯定感を高めること」を最重点目標として推進するとともに、学校地域協議会との連携強化により地域とともにある学校づくりに努める。

〔星が丘地域学校園教育ビジョン〕 『未来を見つめ、主体的に生き抜く力の育成』
～ 認め合い、学び合い、高め合う児童生徒を育てる取組をとおして ～

4 教育課程編成の方針

- (1) 日本国憲法、教育基本法、学校教育法、小学校学習指導要領に示された教育の目標や内容、県・市の学校教育の重点、努力の方向に基づき、更には地域社会や児童の実態等を十分に把握し「人権尊重の教育」を基盤に、調和と統一のある教育活動を積極的に推進する。
- (2) 心身の発達段階や特性・子どもの育成に関わる多くの関係者の願いを考慮し「一人一人が優しさへの感性を豊かに備え、それぞれの可能性を最大限に発揮できる学校」を目指す。
- (3) 学習指導要領の原則を踏まえ、教育内容の質的・量的な充実を目指した学習指導を展開し基礎的・基本的な事項の定着と個に応じた学習活動の展開の充実に努める。

- (4) 各教科・道徳・特別活動・総合的な学習の時間・外国語活動などの関連を図り、調和と統一のとれた編成に努める。
- (5) 前年度活動の評価等、地域社会の実情・児童の実態等を踏まえ、柔軟な指導の形態・指導法の工夫・教育資源（人・地域・機関等）の活用につとめ、一人一人の教育的な課題がより確かに解決が図られるよう展開を工夫する。

5 今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○）

（1）学校運営

全教職員がチーム力を高めながら活気ある学校づくりに努め、地域の教育力をこれまで以上に有効に活用して特色ある教育活動を推進するとともに、学校の情報を積極的に発信し、地域協議会〈夢工房〉と一体となって、地域ととともにある学校づくりを推進する。

（2）学習指導

～主体的・探究的・協働的に学ぶ児童の育成～

- ・児童が自ら考え分かりやすく表現できるようにするための授業の進め方の工夫
- 基礎・基本定着のための「じっくりタイム」の実施と家庭学習の習慣化
- ・夢や希望の実現に向けて努力する態度を育むためのキャリア教育の推進
- ・よりよい授業を目指した学力調査等の結果を分析・活用した授業改善

（3）児童生徒指導

～自分を大切にし、他者もかけがえのない存在として大切にする態度・実践力の育成～

- 自己肯定感を高めるための「認める、褒める、励ます」指導の一層の推進
- 進んで元気なあいさつができるようにするための、児童主体のあいさつ運動の促進
- ・すべての児童が楽しく明るく生活できるようにするためのいじめゼロ運動の推進
- ・豊かな心を育むための地域の教育資源を生かした体験活動の実施

（4）健康（体力・保健・食育・安全）

～自他の命や健康の大切さを知り、

健康・安全・体力の向上に心がける態度・実践力の育成～

- ・自分の命を守る行動力を身に付けるための、安全指導の推進
- ・自らの健康を管理する力を身に付けるための、保健教育と食育の推進
- 進んで運動し体力を高めるための、外遊びの奨励や各種頑張りカードの活用
- ・心身のたくましさを育むための八幡山を活用した活動の実施

6 学習指導，児童生徒指導，健康（体力・保健・食育・安全）に関する取組

※ 様式2～4参照

7 特色ある学校づくり等に関する取組

(1) 育てたい資質・能力

自己の成長を目指し、豊かなかかわりを通して、主体的に取り組む意欲や態度

(2) 具体的取組

【やさしい子】

- ◇児童会を中心としたあいさつ運動の推進や縦割り班活動の効果的な実施
 - ・いじめゼロ運動の推進と、いじめアンケートやQ Uの活用
- ◇地域の教育資源を生かし、豊かな体験活動による心の教育の推進
 - ・朝の読書タイムや読み聞かせボランティアなど、本に親しむ環境づくりの充実
- ◇幼保小連携の積極的な推進（八幡台幼稚園との交流）

【元気な子】

- ◇地域の人的資源、自然環境資源等豊かな教育資源を活用した体育的行事の実施
 - ・元気っ子健康・体力チェックの結果を踏まえた、運動の日常化のための取組と授業改善
- ◇児童が自ら意欲をもって取り組める水泳・縄跳び・鉄棒の実施と休み時間の外遊びの奨励
 - ・関係機関と連携協力した交通安全教室、不審者を想定した避難訓練・防犯教室等の実施

【よく学ぶ子】

- ◇八幡山公園を活用した体験活動の充実
- ◇インターンシップ（6年）・まち探検（2年）等の実施
 - ・かがやきルーム、そよかぜ学級（特別支援学級）と連携した特別支援教育の推進
 - ・基礎・基本を確実に定着させるための朝の学習の時間「じっくりタイム」の実施

8 本市の重点施策・事業との関連

(1) 地域とともにある学校づくり（「地域協議会」との連携・協働を含む）

①基本的考え

地域と共にある学校づくりを推進するため、学校地域協議会〈夢工房〉の学校運営参画を促進するとともに、地域の教育力を有効に活用した教育活動の充実に努める。

②主な取組

- ・学校地域協議会の会議運営の工夫・改善による積極的な学校運営参画の促進
- ・地域の人材、自然・施設等などの教育資源を有効に活用した体験活動の実施
- ・保護者や地域人材による学習支援の一層の充実
- ・「七夕かざり」「盆踊り」「どんど焼き」等、地域と協働で行う伝統行事の開催

(2) 小中一貫教育・地域学校園

①基本的考え

地域学校園教育ビジョン「未来を見つめ、主体的に生き抜く力の育成」を具現化するため、自己肯定感を高めることを最重点目標として、小中教職員がより相互理解を深めながら義務教育9年間を見通した教育活動を推進するとともに、学校地域協議会との連携強化により地域とともにある学校づくりを推進する。

②主な取組

- ・9年間を通して自己肯定感を高めるための小中学校間の連携
- ・カリキュラムの地域学校園化による義務教育9年間を見通した各教科等の指導
- ・地域の教育資源や人材を生かした宮っ子心の教育、宮未来キャリア教育の推進
- ・教科分科会を通した各教科の小中一貫した指導の実現と教員の指導力向上
- ・学校行事や地域行事における中学生の参加協力
- ・小中学校間での一層の情報共有、相互支援による一貫した児童生徒指導や不登校対策の強化

(3) 不登校対策

①基本的考え

「子供に寄り添う学校づくり、抱え込まずにみんなで支援」の考え方のもと、認める、**褒める**、励ます教育を推進し自己肯定感を高めながら、互いに尊重し合う温かな人間関係づくりを推進する。また、不登校を生まない学級・学校経営に努めるとともに、不登校及びその傾向がある児童及び担任への組織的な支援を行う。

②主な取組

- ・「1日休んだら電話連絡、2日続けて休んだら家庭訪問、かかわり続けてきっかけ探し～そうなる前に毎日ひと声～」の継続実施
- ・学級担任はもとより、全教職員による児童一人一人に対する寄り添う姿勢と学習指導、生活指導両面での認め励ます教育による自己肯定感を高める指導の推進
- ・アンケート、Q U、教育相談等の結果の分析と活用による不応適傾向のある児童の早期発見。また、不登校傾向や兆候の児童に係る、早い段階での校内全体の情報共有（ケース会議）と組織的な対応による担任サポート体制の充実
- ・S Cや関係機関、家庭との連携による不登校の早期発見と効果的な対処
- ・児童がS O Sを発信できる環境づくりと、ゲートキーパーとしての教職員の資質向上・「U@りんくす」やI C Tを活用した、連絡・学習支援等の個に応じた適切な対応

(4) G I G Aスクール構想

①基本的考え

G I G Aスクール構想を推進し、一人一台端末や高速通信ネットワーク等のI C T環境の活用を図りながら、個別最適な学びや創造性を育む学びの実現と、学校の業務負担軽減を目指した取組を推進する。

②主な取組

- ・協働学習ツールやA Iドリルを積極的に活用した教科の学びを深める指導の充実
- ・不登校児童支援や特別支援教育等、個に応じた多様で適切なI C Tの活用
- ・デジタル・シティズンシップを育む情報モラル教育の推進
- ・教職員の指導力向上を目指す研修の充実とI C T支援員の効果的な活用

(5) 宇都宮学

①基本的考え

郷土や地域を愛し、誇りをもつことができるよう、社会科，総合的な学習の時間等を通じて宇都宮の歴史や伝統文化，産業等への理解を深める学習の充実を図る。

②主な取組

- ・総合的な学習の時間や社会科の年間指導計画の見直し
- ・郷土の文化財，伝統文化，食文化等に触れる機会の充実
- ・地域の人材を活用した教育活動や交流活動の充実